

世界の生乳生産、2026 年は引き続き緩やかに成長 乳製品貿易量もプラス FAO「食料アウトルック」2026 年 6 月号より

国連食糧農業機関 (FAO) が、世界の農産物需給などの概況を見通す「食料アウトルック (Food Outlook)」の最新報告 (6 月 18 日に公表) によると、2026 年の世界の生乳生産量は引き続き緩やかに回復し、前年比 1.0% 増の約 1 億 1400 万トンになると予測している。また、2026 年の世界の乳製品貿易量も、2025 年の力強い成長の後、2026 年には 0.9% 増加すると予測している。市場は回復基調にあるものの、経済成長の鈍化、消費者の購買力の不均等、一部の主要輸入国における構造調整の継続により、成長のペースが鈍化する可能性が高く、今後の動向を注意深く観察していく必要がある。

以下では、報告書の中から、乳・乳製品の市場動向とニュースリリースの概要を紹介する (読みやすさを考慮し、Jミルクで小見出しなどを補った)。

【食料アウトルック】(*1)

生乳生産はアジアと南米の増産が牽引

世界の生乳生産は 2026 年も拡大を続けると予測されているが、成長は近年に比べて著しく鈍化すると予想されている。これは、地域的に不均等な発展と、一部の主要生産国の成長鈍化を反映している。世界の生乳生産は、2026 年には 2025 年から 1.0% 増加して約 1 億 1400 万トンに達すると予測されているが、これは近年記録された平均的な成長を下回るペースである (表 1)。

この増加は、2026 年もアジアと、北米及び南米における継続的な拡大に支えられている。欧

州連合 (EU) での生産はわずかに減少すると予想され、オセアニアでの成長は控えめなままである。

予想される減速は、地域毎の不均等な発展、一部の主要輸出国の成長鈍化、主な生産地域での生乳生産に影響を及ぼす構造的制約の継続を反映している。労働コスト、エネルギーコスト、飼料コストの高止まり、環境規制の強化、気候の変動、家畜疾病への懸念は、多くの国で生産者の利益率や投資決定の重しとなり続けると予想される。地政学的緊張やマクロ経済の不確実性も、特に輸出志向の酪農部門において、

表 1. 世界の乳・乳製品市場の概観(*1)

世界総量	2024 年	2025 年 (推定)	2026 年 (予測)	増減(%) : 2026 年 / 2025 年
総生乳生産量(百万 t)	983.7	1,003.7	1,012.6	1.0
総貿易量(生乳換算百万 t)	88.9	91.2	92.1	0.9
1 人当たり消費量				
世界(kg/年)	120.2	121.6	121.6	0.1
貿易のシェア(%)	9.0	9.1	9.1	0.2
FAO 乳製品価格指数 (2014~2016 年=100)	2024 年	2025 年	2026 年 1~5 月	増減(%) : 2026 年 1~5 月 / 2025 年 1~5 月
	129.7	146.7	120.0	-19.4

生産インセンティブや市場の信頼感に影響を与える可能性がある。

アジアは、2026 年も世界の生乳生産の増加をけん引すると予想されるものの、成長ペースは前年に比べて鈍化すると予測される。一部の国では、牛頭数の拡大の継続、生産性の向上、国内の酪農供給の強化と食料安全保障の改善を目的とした政府支援による酪農開発プログラムによって、生産量の増加が維持される。中国における生乳生産は、大規模な商業農場における生産性の向上と政策的な支援策が、支払乳価の下落と乳牛頭数減少の継続による影響を一部相殺するため、近年みられた減少から緩やかに回復する。対照的に、日本と韓国では、農業人口の高齢化に伴う構造的制約、高い生産コスト、内需の減速によって、生乳生産量の減少が続く可能性がある。

EU では、生産性の向上が乳牛頭数の継続的な減少を部分的に相殺するものの、2026 年の生乳生産はわずかに減少する可能性があるとして予想される。しかし、生産コストの上昇、環境規制の強化、支払乳価の下落、局地的な疾病の発生が、生乳生産の伸びを引き続き抑制する可能性が高い。

南北アメリカでは、生乳生産は引き続き増加すると予想される。米国では、生産者の利益率の改善と飼料コストの低下に支えられて、生産は緩やかに成長すると予想されるが、貿易関連のより広範な不確実性が、引き続き生産者の心理と輸出需要の見通しに影響を及ぼす可能性がある。南米では、生乳生産は、牧草地の状況の改善、良好な飼料の可用性、収益性の回復、堅調な国内需要に支えられて回復を続けると予想されるが、2025 年に記録された力強い回復を受けて、拡大がより緩やかになる可能性がある。

オセアニアでは、2026 年の生乳生産は微増に留まると予想される。ニュージーランドでは、

天候の変動が拡大のペースを制限する可能性はあるものの、一般的に良好な生産者乳価と適切な牧草地の条件に支えられて、生産量は緩やかな増加を続けると予想される。オーストラリアでは、乾燥した天候が予想され、水利用の制約が続くことから、生乳生産量がわずかに減少する可能性がある。

世界の乳製品貿易量は 0.9% 増 成長のペースは鈍化

2026 年の世界の乳製品貿易量は、2025 年の 2.5% という力強い成長の後、2026 年には 0.9% 成長すると予測されている。乳製品と原料の需要はおおむね堅調に推移し、世界の乳製品貿易は引き続き拡大を続けると予想されるが、生乳生産の伸びの鈍化、地域間での輸入需要の不均衡、経済成長の鈍化、消費者の購買力の不均衡などを反映し、拡大のペースは鈍化する可能性が高い。

牛乳換算の世界酪農貿易の成長は、主に米国と南米における輸出可能量の増加に支えられると予想される。一方、オセアニアからの出荷はより緩やかに増加すると予想される。対照的に、EU からの輸出の伸びは、生乳生産の伸びが鈍化する中で限定的なものにとどまる可能性がある。一方、アジアの一部、特に近東からの輸出は、近年記録された力強い拡大の後、減少すると予想される。

需要面では、輸入は EU、北米、中南米の一部で増加すると予想される。一方、アジアでは、東南アジアの強い需要が中国の概ね安定した輸入により相殺されるため、成長は緩やかなものにとどまると予想される。アフリカ諸国による輸入は、購買力の制約、通貨圧力、国内の牛乳入手可能量の改善という複数の要因から、ほぼ変化しないと予想される。

貿易の今後の見通しは、製品によって大きく異なる。主要乳製品の中でも、チーズは、小売、フードサービス、食品製造の堅調な需要に支えられ、最もダイナミックな分野であると予測される。

一方、バターは、近年の力強い成長の後、これまでに比べ緩やかに拡大すると予測される。一部の輸入国、特に中国における国内の生乳生産と処理能力の継続的な拡大によって、一部の乳製品の輸入需要の伸びは緩やかになると

予想されるが、新興市場における需要は引き続き国際貿易を下支えすると予想される。

全脂粉乳の貿易は、従来からの輸入者による購買力が弱いものの、新興市場における需要の伸びに支えられて、引き続き拡大すると予測される。これとは対照的に、脱脂粉乳の貿易は、主要な供給者の輸出可能な数量の増加が限られていることと、一部の従来からの輸入市場からの需要が弱いことに制約され、わずかに増加

表 2. 乳製品の国際価格及び FAO 乳製品価格指数(*1)

期間	国際価格 (米ドル／t)				FAO 乳製品価格 指数 (2014～ 2016 年=100)
	バター ¹	脱脂粉乳 ²	全粉乳 ³	CHEDAR チーズ ⁴	
年次(1～12 月)					
2015 年	3 306	2 089	2 537	3 076	87
2016 年	3 473	1 986	2 481	2 807	83
2017 年	5 641	2 011	3 163	3 664	108
2018 年	5 587	1 834	3 060	3 736	107
2019 年	4 443	2 440	3 186	3 435	103
2020 年	3 844	2 610	3 041	3 504	102
2021 年	4 995	3 176	3 855	3 850	120
2022 年	6 608	3 862	4 253	4 998	150
2023 年	5 100	2 692	3 327	4 486	124
2024 年	6 993	2 689	3 691	4 291	130
2025 年	7 405	2 702	4 121	5 117	147
月次					
2025 年 5 月	8 070	2 821	4 530	5 202	154
2025 年 6 月	8 334	2 813	4 424	5 308	155
2025 年 7 月	8 207	2 783	4 330	5 326	155
2025 年 8 月	7 993	2 835	4 307	5 215	152
2025 年 9 月	7 256	2 680	4 126	5 187	147
2025 年 10 月	6 730	2 565	3 860	5 108	142
2025 年 11 月	6 301	2 496	3 632	5 969	136
2025 年 12 月	5 347	2 425	3 376	4 796	128
2026 年 1 月	5 058	2 497	3 414	4 338	121
2026 年 2 月	5 251	2 784	3 618	4 022	119
2026 年 3 月	5 627	3 053	3 801	3 873	121
2026 年 4 月	5 390	3 230	3 774	3 778	120
2026 年 5 月	5 053	3 363	3 784	3 767	119

¹ バター: 乳脂肪 82%、FOB オセアニア・EU、平均表示取引価格

² 脱脂粉乳: 乳脂肪 1.25%、FOB オセアニア・EU、平均表示取引価格

³ 全脂粉乳: 乳脂肪 26%、FOB オセアニア・EU、平均表示取引価格

⁴ チェダーチーズ、最大水分 39%、FOB オセアニア・EU、平均表示取引価格

注: FAO 乳製品価格指数は、国際的に取引されている EU とオセアニアの代表的な乳製品の貿易加重平均から算出される。

すると予測されている。ホエーの貿易は、飼料及び栄養食品用途向けの持続的な需要に支えられて、比較的底堅く推移すると予想される。

乳製品国際価格は脱脂粉乳以外下落

2026年の乳製品の国際価格指数は、2026年1月から5月にかけて平均120.0ポイントと、前年同期比で19.4%低下した。傾向は製品によって異なり、バター、チーズ、全脂粉乳は2025年の水準を下回ったままであったが、脱脂粉乳は上昇し、前年から唯一上回った製品であった。今後、市場は生乳生産量、需要、貿易政策に引き続き敏感であり、輸出可能な数量によって価格上昇を抑える可能性が高い。乳脂肪製品よりも乳タンパク質製品の方が比較的堅調な状況が続くと予想される。

【ニュースリリース】(*2)

世界の食料品市場は「やや楽観的」だがリスクは残存

最新のFAO「食料アウトルック」によると、2026年の世界の食料品市場の見通しは引き続き比較的良好であり、2026/27年の穀物生産量は、過去最高からは減少するものの、歴史的に高い水準を維持すると予測されている。それにもかかわらず、エルニーニョの発生などの気象動向、紛争によって混乱したエネルギー・肥料市場の不安定性や地政学的緊張の高まり、貿易政策を取り巻く不確実性、より広範なマクロ経済の逆風が、貿易の見通しと市場の安定を圧迫している。

また最新版では、国際海運における代替燃料とクリーンエネルギー規制の影響、エタノールを介した砂糖価格とエネルギー製品の関連性、肥料市場、世界の食料輸入金額について、さらなる洞察を提供している。

肥料市場は価格が緩和したものの中東情勢の影響で購入停滞

FAOは、2026年1～4月の間に世界の肥料取引量が前年同期比で20～25%減少したことを報告している。最近、価格上昇は多少緩和されているものの、EUや北米などの主要市場では、特に窒素とリン酸の購入が停滞しているため、次の2026/27年の農繁期には懸念が残っている。市場の状況は、依然としてホルムズ海峡関連の影響に敏感である。

食料輸入金額の推移

食料アウトルックは、2025年の世界の食料輸入金額に関するFAOの最新の推計も提示している。現在は、前年から7.9%増加し、過去最高の2兆2200億ドルに達したと推定されている。

穀物、砂糖、油糧種子の輸入コストが低下したにもかかわらず、世界の食料輸入金額が増加したのは、主に高所得国(HICs)が輸入するコーヒー、ココア、香辛料、動物製品、魚、果物、野菜などの高付加価値製品の価格が大幅に上昇したことが要因である。全体の2/3以上を占めるHICsによる食料輸入支出が9.3%増加したのに対し、高中所得国では4.0%、低中所得国では7.9%、低所得国では6.7%の増加であった。

FAOの以前の分析では、地政学的リスクが高い場合、原油価格高騰による食料輸入金額への影響度合いは、通常の条件下のほぼ倍になる可能性があることが示された。不確実性、リスクプレミアム、保険コスト、物流の混乱が、エネルギーショックによる食料輸入コストの価格転嫁を強めている。

FAO「食料アウトルック」とは

年に2回発行され、穀物、植物油、砂糖、肉、乳製品、魚など、世界の主要な食料品の市場需給の動向をFAOが検証している。また、食料

品の先物市場や、輸送コストの動向についても
言及している。

参考資料:

(*1)<https://doi.org/10.4060/ce0204en> Food
Outlook. June 2026. Food and Agriculture
Organization of the United Nations.

(*2)[https://www.fao.org/newsroom/detail/fao-
food-outlook--global-food-commodity-
market-trends-face-rising-geopolitical-and-
weather-risks/en](https://www.fao.org/newsroom/detail/fao-food-outlook--global-food-commodity-market-trends-face-rising-geopolitical-and-weather-risks/en) FAO Food Outlook:
Global food commodity market trends face
rising geopolitical and weather risks

(資料閲覧:2026 年 6 月 18 日)

(Jミルク 国際グループ)